



市報

むらかみ

MURAKAMI

No. 55

2012年

10



主な内容

- むらかみ夏の音楽祭～『良いもの』を創る～…………… 2～5ページ
- わたしの主張 村上・岩船地区大会 ……………… 6～7ページ
- 芸術の秋を楽しもう～展覧会・文化祭巡り～ …… 8～9ページ
- ご長寿おめでとうございます。いつまでもお元気で… 10ページ
- お知らせ版

元気 “^いeまち” 村上市

-ひとが輝き集う優しさのまちをめざして-



8月25日・26日

第7回 むらかみ夏の音楽祭

～『良いもの』を創る～

今年で7回目となった「むらかみ夏の音楽祭」。これまでも地元出身の大滝雄志先生と武蔵野音楽大学の学生や卒業生、地域の皆さんとが協働で合唱やオペラを上演し、大勢の人を魅了してきました。

合併して5年目の今年は、「創作オペラ 安寿と厨子王」を上演。今号では、芸術監督の大滝先生や出演者から音楽祭への思いを取材しました。

●問い合わせ 中央公民館 ☎72-6700

みんなで創る

創作オペラを上演した今年の夏の音楽祭は、大勢の出演者やスタッフ、観客によりみんなで作られたと感ぜられるものとなりました。

本邦初演の創作オペラ

創作オペラ『安寿と厨子王』

は、朝日地区蒲萄出身で武蔵野音楽大学非常勤講師の大滝雄志先生が台本を書き、芸術監督を務めたもので、森鷗外原作の「山椒大夫」をもとに、佐渡に伝わる民話を題材とした作品です。

この作品には、地域の子どもたちや合唱に関わる有志の人、小国町の獅子舞、大須戸能、少林寺拳法に多くの市民が出演するなど、創作オペラならではの舞台となりました。

また、オーケストラや舞台制

作などをプロのスタッフが担当し、舞台を支え、盛り上げていました。

会場には、両日合わせて約1000人が詰めかけ、本邦初演となる創作オペラを堪能しました。

大滝先生は、「みんなで作ろう、オペラの舞台」を合言葉にしてオペラ制作に取り組んでいるそうです。今年の夏の音楽祭は、その合言葉どおり、出演者やスタッフ、多くの観客みんなが一体となってひとつのオペラの舞台を創り上げたと感じられる音楽祭となりました。

—あらまし—

西国へ流された父の無実を晴らすため、東北から母・乳母とともに京へ向かった安寿と厨子王の姉弟は、道中越後で、人買いに騙され、丹後（現在の京都府北部）で山椒大夫に買い取られてしまいます。

安寿は厨子王を密かに逃がしますが、命を落とします。

一方、厨子王は、無事京にたどり着きますが、そこで父の無実を晴らします。その後、佐渡に渡り、生き別れた母と再会します。

県内が舞台となったお話もさることながら、地元の伝統芸能が盛り込まれたり、大勢の地域の人出演したりと、地域色の濃い演出がされています。

— むらかみ夏の音楽祭に出演して —



やまぐち みき
山口未優さん
(砂山小 6年)
— 安寿役

私は、この創作オペラに出演して楽しかったことと学んだことがあります。

楽しかったことは、共演者の人と話をすることができたことです。初めて会った人なのに笑顔で話しかけてくれたときは、とてもうれしかったです。また、学んだことは、人に会ったらあいさつをすることと目上の人に対する礼儀の大切さです。機会があったら、また参加したいです。



きむら あみ
木村歩望さん
(平林小 4年)
— 厨子王役

私は、本番初日の舞台に立ったとき、たくさんのお客さんがいたことに驚きました。最初は雰囲気飲み込まれそうになりましたが、しばらくするとその雰囲気にも慣れて、気にせずに演技することができました。

2日目は、手順も頭に入っていて、迷うことなく演技ができました。この日はなぜか、拍手が大きく聞こえました。友達もたくさんできて、とてもいい思い出になりました。



なかやま さかえ
中山栄さん
(大須戸)

今回の公演では、世界的に活躍するソリストの皆さんや、他の地域の芸能との共演という機会をいただいたことに大変感謝をしています。

大滝先生の上演は、夏休みということもあり、子どもたちの関心も高く、社会に参加するという教育の一環として大きな貢献があると思っています。

村上市が「音楽で有名なまち」と呼ばれる日を、楽しみにしています。



みうら こうへい
三浦公平さん
むらかみ夏の音楽祭
実行委員会副実行委員長

交流人口拡大の一助に

7回目のむらかみ夏の音楽祭の開催にあたり、皆様からのご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

皆さんがこの日のために練習を重ね、本番ではその成果を発揮し、多くの人に感動を与えてくれました。

このような村上発信の音楽文化が今後、地方讃歌の一助となり、交流人口の拡大につながることを願って止みません。



大切なこと

出演者の皆さんは、出演が決まってから、それぞれの場所で練習を重ねてきました。上演の一週間前には、全ての出演者が合流し、本番に向けての練習が行われました。

— 練習は每晚遅くまで

出演者の皆さんは、東京と村上で、それぞれ練習を重ねてきました。

本番の一週間前には、武蔵野音楽大学の学生を含む出演者の皆さんが会場に入り、オーケストラとの音合せや動きなどを一つ一つ確認しながら毎晩遅くまで練習をしていました。

少林寺拳法や伝統芸能の小国町の獅子舞、大須戸能の出演者が揃ったときは、その場面の一連の流れや舞台の感触などを確かめながら練習をしていました。

— 良いものを見せるために

上演後に、安寿を演じた下田典子さんと厨子王を演じた真塩直さんにお話を伺いました。

下田さんは、原作を読んだ上に、実際に佐渡へ行くなどして内容について研究してきたこと、真塩さんは、実は創作オペ

ラは初めてで、この舞台のために原作を読むなどして準備してきたことを話してくれました。このことは、演技をする上でとても大切なことだそうです。

2人は、「やるからには皆さんに『良いもの』を見せたい。その気持ちを持ち続けて、これまで時間をかけて練習してきました。」とも話してくれました。



しもだのりこ
下田典子さん



ましお なお
真塩直さん

INTERVIEW

インタビュー



大滝 雄志(おおたき ゆうし)

1939年生まれ。1967年、武蔵野音楽大学大学院音楽研究科修士課程声楽専攻修了。1972年、国立ベルリン音楽大学声楽・オペラ科卒業。1980年から1年間、在外研究員としてウィーン国立歌劇場で日本人初の演出助手を務め、多くの演出家の下でオペラ演出を学ぶ。武蔵野音楽大学に勤務する傍ら、同大学のオペラ公演の演出などを担当。今春、武蔵野音楽大学教授を退き、同大学の非常勤講師として現在に至る。

この夏の音楽祭のための練習や打ち合わせなどで、村上と東京を往来している大滝先生。多忙なスケジュールの中、上演前にインタビューに応じてくださいました。

— 創作オペラ「安寿と厨子王」を公演することになったきっかけは

安寿と厨子王の創作オペラは、以前からやりたいと思っていました。

20年近く前、佐渡に行ったとき、泊まった宿屋の風呂場の壁に安寿と厨子王の歌詞が書いてあったんです。それを見て、「佐渡に伝説があるのだから、ぜひこれをいつかやってみたい」と思っただけです。

以前から「創作オペラはどうでしょうか」と話しをしていたんです。その思いが通じて、ゴーサインが出たんですね。

— 市民参加型の創作オペラということですが

これは、私のスタンスなんです。この創作オペラには、子役・合唱・大須戸能・小国町の獅子舞・少林寺拳法の形が台本の中でストーリーとして組み込んであります。また、裏方でさまざまなことに協力してくれている人たちもいます。このように、地域の人たちが参加して一つのものを創りあげる、『みんなで作ろう、オペラの舞台』と

いうのが、私の昔からのスタンスなんです。

— この創作オペラのテーマとみどころは

テーマは2つあります。一つは、犠牲的な精神。もう一つは我々の手が届かない超自然的な力です。この2つを柱として創り上げました。

見どころは、一つは安寿が入水するところです。これは第1幕のクライマックスなんです。安寿のいわゆる犠牲的な精神が死という形でもって、次の第2幕につながっていきます。もう一つは、お地蔵様の力によってお母さんの目が明くところ、第2幕のクライマックスです。この2つを見どころとして設定しました。

— この創作オペラへの意気込みをお聞かせください

意気込みはかなりあります。ですから大成功にしたいね。私は、この村上の地で、芸術や音楽・文化を発展させたいというも考えています。この創作オペラもその一つにしたいと思っています。地元の人たちと

ともにすばらしいものを創りたい、大成功にしたいと思っています。



地域の皆さんの温かい支援に感謝

むらかみ夏の音楽祭は、大滝先生の地元である朝日地区の皆さんや先生の友人たちなど大勢の人たちの支えがあつて開催されています。大滝先生は、「地域の皆さんが、さまざまな面で私たちを支えてくださっている。それがあからこそ、私たちはここ村上に来ることができるといふ感謝の思いをいつも持っている」と話してくれました。

村上・岩船地区大会

8月18日(土) 荒川地区公民館

家族など約190人の観覧者を前に、発表者は、自分の思いを伝えることの大切さや人との交流の中で感じたことなどを発表しました。

その中から、大会で最優秀賞に選ばれた渡邊 泉さん(岩船中学校3年)の発表内容と市内各校の代表者を紹介します。

なお、最優秀賞の渡邊さんは、9月17日に開催された新潟県大会に村上・岩船地区の代表として出場しました。

●問い合わせ 村上地域振興局健康福祉部
(村上保健所) ☎53-8361

最優秀賞

わたなべ いずみ
渡邊 泉 さん
=岩船中学校 3年=



「私を成長させてくれたもの」

「県大会出場」これが私たちが吹奏楽部の1年間の目標です。

1年前、3年生が引退して、私は部長になりました。私は全員がうまくなるという気持ちで練習する部になりたいと思いました。毎日の部活動のメニューを音楽室のボードに忘れずに書いたり、後輩の見本になるような大きな返事をしたりして、常に責任感を忘れず行動することを心掛けました。

そのころ私は、顎関節症という病気になるました。顎関節症とは、顎の関節がずれてしまい、痛みが出たり、そのまま進行すれば口も開かなくなったりする病気だそうです。

そのとき私が言われた解決法

の一つが、打楽器に移ることでした。私は、1年生のときからトランペットを吹いてきました。だから、ここで楽器を変えたくはありませんでした。顧問の先生と相談して、ユーフォoniumという楽器を担当することにしました。ユーフォoniumは、今まで金管楽器を吹いてきた経験を生かすことができました。

しかし、顎関節症はどんどん悪化していきました。日常の生活に支障を来すようにもなりました。どうして私だけつらい思いをしなければならぬのか。こんなにがんばっているのに、と家族に当たったときもありました。病院の先生から、「このままでは食べることもできなくなるかもしれない。時には部活動を休みなさい。」とも言われました。

私は、部活動だけは絶対に休みませんでした。自分は部長なのだというプライドがあったからです。でも、顎のことが気になり、練習に集中していかない自分がありました。そのうち、昼休みの練習に行かなくなっていました。他の部員の参加も次第に少なくなり、やがて、昼休みの音楽室から楽器を演奏する音が聞こえなくなっていました。

コンクールも近いのに、真剣に練習をしない他の部員に、何度も注意しようと思いましたが、なかなか自分から言い出せませんでした。それは、昼休みの練習にも行っていない部長がただ怒っても、何も変わらないのではないだろうか、逆に部員全員信頼を失うかもしれない、と思っただけです。

悩んでいた私に手を差し伸べてくれたのは友達でした。その友達は、部員全員で話し合うことを提案してくれました。話し合いをする前、私は不安でした。それは、コンクール前に部員の気持ちバラバラになってしまいかもしれない、という思いがあったからです。

そんな思いで始まった話し合い。すぐ手を挙げてくれた人がいました。一人は練習でのこと、もう一人はあいさつのことを話してくれました。吹奏楽部のこととは全部知っているつもりでしたが、友達の話から、自分では気付かない大切なことがあるというのを教えてもらいました。

次の日、全員の気持ちの持ち方がそれまでとは変わっていたことを感じました。昼の練習はもちろん、朝の練習の参加者も

増えました。あいさつも前よりずっと良くなりました。

私は話し合いを通して、気持ちを伝え合うことの大切さに改めて気付きました。今まで私は自分の気持ちを伝えることが苦手でした。他の人と同じ考えでないと不安だったからです。また、相手の気持ちを自分の思い込みだけで判断することもありませんでした。これからは、他の人と考えが違っても、勇気を持って言おうと思います。自分の考えを伝えることによって何か変わることもあると思います。何より理解しあうことが、人と人との間では大切だと思うからです。

また、これらの活動から私が成長できたのは、友達の存在があったからです。私と同じように、吹奏楽部を良くしたいと思っている人がいたことが、とてもうれしかったです。互いに高め合うことができたし、一緒に活動して悩みを共有し合うこともできました。これから、自分が誰かのために力を貸すことができる存在になりたいと思います。

今、私が言えること。それは、吹奏楽が大好きだということ。そして、吹奏楽部に入って本当に良かったということです。

優秀賞



まつむら こうせい
松村 紘世 さん

＝平林中学校 3年＝

「伝えようとする気持ち

～人の心を動かすのは人の心～

人に自分の思いを伝えること
で大切なのは、紙に印刷され
た文字でもなく、画面に映って

いる文字でもなく気持ちを込めて発する自分の肉
声であることです。



きりゅう みかり
桐生 海果莉 さん

＝村上中等教育学校 3年＝

「交流と人の輪」

最近、「無縁社会」という言葉
をよく耳にしますが、私の身の
回りを考えると球技大会や地域
の祭りなど幅広い年齢層が交

流する機会はいろいろとあります。このことから、人
と人とが交流する機会を作り出すことは難しいこと
ではないと思うのです。だから私は、「人の輪」を広
げる本気の活動を始めていこうと決意しています。

奨励賞



こいけ ゆう
小池 悠生 さん

＝村上東中学校 3年＝

「大切だと思うこと」

”笑顔”がもたらすプラスの
効果と何気ないことだけれど、
笑顔で日々を過ごせる事の幸
せや大切さを実感しました。



ほんま あやか
本間 綾香 さん

＝朝日中学校 3年＝

「1日15分で心を磨く」

今年の春、初めてトイレ掃
除(担当)になりました。トイ
レ掃除は、私に大切なことを
たくさん教えてくれました。



ほんま たくろう
本間 拓良 さん

＝神納中学校 3年＝

「努力」

あなたは、スポーツは身長や
体格がないと上を目指せない
と思いませんか。僕は最初そ
う思っていました。兄からす

められた漫画を読んでから僕の考えは変わりました。



さくらい たいき
桜井 泰紀 さん

＝村上第一中学校 3年＝

「心と心の繋がり」

今年3月に訪問した中国で
出会った友達との交流を通じ
て気付いた心と心の繋がり
について書きました。



ほり まみ
堀 まみな さん

＝荒川中学校 3年＝

「名前は家族の愛」

私の名前は「堀まみな」です。
私は自分の名前は好きです
が、間違えられたときは嫌に
なります。でも、父と母と姉の一

文字から取って付けられたこの名前は、家族の愛が
たくさん込められていることを知り、もっと大切に
したいと思いました。



いがらし まお
五十嵐 舞緒 さん

＝山北中学校 3年＝

「自分らしさを受けとめて」

他の人と比べてしまい自分
を好きになれなかった私でし
たが「母からの言葉」を受けて
自分らしさを受け止め自分自

身を好きになろうと思いました。考え方が変わるこ
とで日々の生活も変わってゆくことを感じてほし
いと思います。

◎市外(岩船郡)の代表で、戸田祥永よしひささん(粟島浦中学校3年)、佐藤亨憲あきのりさん(関川中学校3年)が奨励賞を受賞しました。

芸術の秋を楽しもう

～展覧会・文化祭巡り～

11月3日は文化の日。その日を中心に市内各地で美術展覧会や文化祭が開催されます。

一般の人や学生、児童などから、多種多様な作品が展覧・展示されます。さまざまな楽しい催しが企画されているところもありますので、ぜひ、ご来場ください。

また、お住まいの地区以外の会場にも足を運んで、「芸術の秋」を堪能してみたいはいかがでしょうか。

第5回村上市美術展覧会

11月3日(祝)～5日(月) 午前9時～午後5時

※初日は午前10時から開始、また最終日は午後4時で終了

ところ 村上体育館

入場料 無料

内 容・村上市美術協会員の作品展示

- ・村上市PTA協議会による児童生徒の図画作品の展示
- ・一般公募した絵画や書道、写真、彫塑、工芸作品の展示

その他 作品カタログは、会場の受け付けで取り扱っています。
(1部100円)



【村上市美術協会員による市美術展覧会出展作品の解説会】

部 門	と き		解 説 員
日 本 画	11月3日(祝)	午前11時～	さとう みきこ 佐藤美喜子 協会員
洋画・版画	11月4日(日)	午後2時～	わかかわ つかさ 脇川 司 協会員
彫塑・工芸	11月4日(日)	午後3時～	おおたき ゆたか 大滝 豊 協会員
書道(かな)	11月4日(日)	午前11時～	おおたき げんいち 大滝 源一 協会員
書道(漢字)	11月4日(日)	午前11時～	すがい ちくざん 須貝 竹山 協会員
写 真	11月3日(祝)	午後2時～	あざね ざわひさかず 荻根沢久和 協会員



●問い合わせ 生涯学習課文化行政推進室 ☎72-6888

上海府地区文化祭・芸能祭

(上海府小学校展覧会と同時開催)

10月21日(日)

午前9時30分～午後2時30分

ところ 上海府小学校

- 内 容
- ・地区の保育園児、小学生の作品展示
 - ・地区住民の作品展示と芸能発表(歌・踊り)
 - ・地区食生活改善推進委員による試食コーナー など

●問い合わせ

上海府地区町づくり推進委員会事務局

(上海府地区コミュニティセンター内)

☎58-2001

瀬波地区文化祭

(お茶の子祭と同時開催)

10月21日(日) 午前9時～午後2時

ところ 勤労青少年ホーム

- 内 容
- ・地区住民の作品展示と芸能発表
 - ・地区の保育園児の作品展示とお遊戯発表
 - ・潮太鼓の演奏と体験コーナー
 - ・地区食生活改善推進委員による試食コーナー など

●問い合わせ

活気あふれる街瀬波まちづくり推進協議会

事務局(勤労青少年ホーム内) ☎53-2005

朝日地区文化祭

(50回記念)

11月3日(祝)・4日(日) 午前9時～午後5時

ところ 総合文化会館
内容 ・地区の各保育園児、小・中学生の作品展示
・地区住民の作品展示
・地区の各種団体等の作品展示 など
※野菜ソムリエの実演、試食コーナーなどもあります(3日のみ)
●問い合わせ
朝日地区公民館(総合文化会館内)
☎72-6700

荒川地区文化祭

11月3日(祝) 午前9時～午後5時

11月4日(日) 午前9時～午後3時

ところ 荒川地区公民館・荒川総合体育館
内容 ・地区の保育園・幼稚園児、小・中学生の作品展示
・荒川地区文化協会美術工芸展
・菊花展・盆栽展
・子ども茶会や郷土料理の展示・試食 など
※荒川総合体育館で『商工業業祭』を開催します。(3日のみ)
●問い合わせ 荒川地区公民館 ☎62-3050

岩船地区文化祭

(岩船小学校展覧会と同時開催)

11月4日(日) 午前9時30分～午後3時

ところ 岩船小学校体育館
内容 ・地区住民の作品展示
・フラワーアレンジメント体験
・地区食生活改善推進委員による試食コーナー
・地元特産品の販売 など
●問い合わせ
岩船まちづくり協議会事務局
(岩船地区コミュニティセンター内)
☎56-7071

神林地区文化祭

11月3日(祝) 午前9時～午後6時

11月4日(日) 午前9時～午後4時

ところ 神林農村環境改善センター
内容 ・地区の保育園児、小・中学生の作品展示
・地区住民の作品展示
・天文イラストレーター沼澤茂美氏の作品展
・地区食生活改善推進委員による試食コーナー など
※神林総合体育館で「芸能まつり」を開催します。(4日のみ)
●問い合わせ 神林地区公民館
(神林農村環境改善センター内) ☎60-1500

山辺里地区文化祭

(山辺里小学校文化祭と同時開催)

11月11日(日) 午前8時30分～午後2時30分

ところ 山辺里小学校
村上農村環境改善センター
内容 ・地区住民、保育園児、小・中学生の作品展示と芸能発表
・野菜即売会
・村上牛串焼き販売 など
●問い合わせ
山辺里地区まちづくり協議会事務局
(村上農村環境改善センター内) ☎53-2715

山北地区文化祭

11月10日(土) 午前8時30分～午後6時

11月11日(日) 午前8時30分～午後4時

ところ さんぼく会館
内容 ・地区住民の作品展示
・囲碁教室
・お茶会(11日のみ)
※山北総合体育館で「さんぼく祭」として「芸能産業まつり」を開催します。(11日のみ)
●問い合わせ
山北総合体育館 ☎77-2828

市の木・花・鳥のパネルも展示します

次の会場では、市の木・花・鳥と、市が推奨する木・花・鳥をパネルにして展示します。ご来場の際はぜひご覧ください。

展示会場 ・上海府小学校(上海府地区文化祭・芸能祭)
・神林農村環境改善センター(神林地区文化祭)
・山辺里小学校(山辺里地区文化祭)





ご長寿おめでとらごぞいませ いつまでもお元気で

9月17日は「敬老の日」。今号では、市内にお住まいで今年度中に100歳以上となる人のうち、ご本人またはご家族から同意を得た人を紹介します。(敬称略、年齢は9月15日現在の満年齢です。)

107歳	小谷	ミサヲ	上の山		益田	繁次郎	瀬波上町
104歳	板垣	武夫	金屋		齋藤	ヨキ	岩船中新町
103歳	菅原	クマ	蒲萄		野澤	フミ	塩谷
	板垣	キヨ	朴平		渡部	テル	緑町二丁目
	岸	マサイ	北新保		中山	ヨキ	大須戸
102歳	高橋	トメ	長井町		大滝	佐治兵衛	北中
	中山	トシ	大須戸		渡邊	チイ	坂町
	竹田	政恵	府屋学校町		佐藤	ヨシ	上の山
	寶井	ユキ	庄内町		瀬賀	フサ	福田
101歳	本間	キクヨ	布部	99歳	井上	トキ	早川
	平方	ヨシイ	岩石		遠山	キヨノ	岩沢
	石栗	イチノ	岩沢		近	ナヲ	山田
	田中	チウ	飯野桜ヶ丘		居城	敬三	田端町
	本間	キクノ	小出		今井	ミ子	上の山
	本間	フク	今川		高橋	正治	北新保
	坂田	カウ	下鍛冶屋		南間	フミ	松沢
	久津美	セツ	北新保		木村	キミ	平林
	須原	つや	十文字		長野	トメノ	荒島
	鈴木	松四郎	北新保		中島	テイ	新町
	木村	ヨキ	七湊		増子	キヌイ	早稲田
	米山	キクノ	久保多町		富樫	道代	中浜
	100歳	本間	ヨシ		浜新保	成田	ギン
河村		ミツギ	瀬波上町	中澤	ミドリ	小町	
江端		惣一	金屋	長濱	チヨ	上の山	
横井		儀作	檜原	工藤	クメイ	八日市	
菅原		フミ	岩沢	堀井	チイ	緑町二丁目	

長寿祝金などの贈呈

市では、市内に住所を有し、かつ1年以上続けて居住している人で、今年4月2日から来年4月1日までの間に満88歳、満99歳、満101歳以上を迎えられる人および20年以上続けて居住している満100歳を迎えられる人にお祝い品などを贈呈しました。(満100歳の人については、誕生日を迎えられた後に贈呈しています。)

贈呈対象者数

満88歳497人 満99歳25人 満100歳19(2)人 満101歳以上34人

※満100歳の()内の人数は、4月から9月15日までの贈呈者数です

●問い合わせ 介護高齢課高齢福祉係 ☎53-2111(内線367)



10月から保険税(料)の特別徴収が開始されます

7月中旬に送付した「国民健康保険税納税通知書」「介護保険料納入通知書」「後期高齢者医療保険料納入通知書」の「特別徴収(円)」欄の10月、12月、2月に金額が印字されている人は、10月からの納付方法が普通徴収(納付書や口座振替)から特別徴収(年金からの天引き)に変更となりますので、ご確認ください。

例)後期高齢者医療保険料納入通知書の場合

後期高齢者医療保険料納入通知書

※ 平成24年度 分の後期高齢者医療保険料徴収額を次のとおり決定しましたので通知します。
平成24年 7月11日

新 潟 県 村 上 市 長
大 滝 平 正

被保険者氏名			
被保険者番号			
生年月日		性別	

期別保険料額

月	特別徴収(円)	期別	普通徴収(円)	普通徴収の場合の納期限
4月	0			
5月				
6月	0			
7月		4期	5,800	平成24年 7月31日
8月	0	5期	5,800	平成24年 8月31日
9月		6期	5,800	平成24年10月 1日
10月	6,100	7期	0	平成24年10月31日
11月		8期	0	平成24年11月30日
12月	5,900	9期		
1月		10期		
2月	5,900	11期		
3月		12期		
計	17,900	計		

特別徴収(普通徴収併用)
特別徴収義務者 厚生労働大臣
特別徴収対象年金 老齢基礎年金
特別徴収対象年金額
下記に記載のある方は口座振替による納付です。
金融機関
口座種別

例

「国民健康保険税納税通知書」「介護保険料納入通知書」「後期高齢者医療保険料納入通知書」の『特別徴収(円)』欄に10月以降、金額が印字されている人は、10月から特別徴収となります。

現在支給されている年金額と異なる場合があります。

※詳しくは、7月中旬に送付した「国民健康保険税納税通知書」「介護保険料納入通知書」「後期高齢者医療保険料納入通知書」をご覧ください

※金額などは、お手元の通知書でご確認ください

※保険料(税)の納め方が変更となった人は、送付してある変更通知書でご確認ください

●問い合わせ 税務課保険税係 ☎53-2111(内線223、224)

今年度から

国民健康保険からのお知らせ

子どものインフルエンザ予防接種費用の一部を助成します

対象者は、次の要件に全て該当する人です。

- ・予防接種日の時点で村上市国民健康保険に加入している。
- ・他のインフルエンザ予防接種に関する助成を受けていない。
- ・今年の4月1日の時点で1歳以上15歳未満の人です。

助成額 (1人あたり)	助成回数 (1人あたり)	申請時に持参するもの
2,000円	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関が発行するインフルエンザ予防接種済証と領収書 ・国民健康保険被保険者証 ・印かん ・振込先がわかるもの

【申請期限】 平成25年3月29日(金)

●問い合わせ 保健医療課国保室 ☎53-2111(内線252~254) または各支所地域福祉課保健室

突然の災害に備えて

～村上市総合防災訓練を実施～

「8月26日(日)午前9時、粟島沖を震源とする地震が発生し、日本海沿岸に大津波警報が発令された」という想定で、防災訓練を市内全域で実施しました。

市内各地区、町内、集落などで実施された訓練には、15,030人が参加しました。

突然の災害に備えて、いざという時に慌てずに行動できるよう、普段から家族や職場で防災について話し合いをしましょう。



消防本部と村上総合病院DMATチームによる救助訓練(山北・多目的グラウンド)



陸上自衛隊による住民輸送訓練(山北・多目的グラウンド)



AED操作、応急手当訓練(荒川・荒川中学校)



要援護者避難誘導訓練(神林・西神納小学校)



消防団による放水訓練(朝日・朝日多目的グラウンド)



村上無線赤十字奉仕団による通信訓練(村上・山辺里小学校)

●問い合わせ 総務課総務・危機管理室 ☎53-2111(内線316)

スポーツを通して、中国の人と交流

「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」

この交歓大会は、8月16日から21日まで、中国北京市にあるオリンピック体育センターを会場に開催され、新潟県の選手として本市の石山 慎さん（荒川中学校1年）と菅井夏葉さん（村上中等教育学校3年）、団長として小林 富二夫さん（荒川中学校長）、コーチとして石山忠一さん（荒川中学校保護者）の4人が参加しました。

また、今年が日中国交正常化40周年ということもあり、それを記念して開催されました。

参加者は、新潟県と友好関係にある黒龍江省と合同でチームを編成し、他の友好都市チームと対戦。予選で一勝二敗という成績で終わり、決勝トーナメントに進出することはできませんでした。

この交歓大会は、5年ごとに開催されており、今回で5回目。

大会に参加した石山 慎さんは、「卓球以外では、万里の長城などに行くことができて楽しかったけど、同じチームだった中国の人が英語を話せるのに自分が話せないのが、英語を話すことの大切さを強く感じた。」と話し、菅井夏葉さんは、「卓球では、中国の人との実力の差はあったけど、緊張感のある中で楽しくプレイできた。外国の人とのコミュニケーションをとるのが難しかったけど、国や文化が違ってもスポーツでの交流を通して、仲良くできるということを実感した大会だった。」と話してくれました。



前列 右端が菅井さん、その隣が石山さん

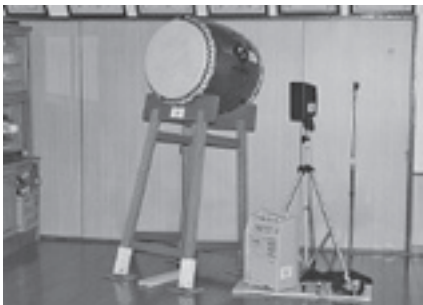


宝くじの助成金で

祭りの太鼓などを整備！

荒川地区の坂町住宅自治会、朝日地区の塩野町区・早稲田区では、自治宝くじの助成金であるコミュニティ助成事業を受けて、地域の祭りや伝統行事の継承のためにかかせない太鼓や音響機器を整備しました。

各区とも、祭り当日での活用や伝統行事の担い手の育成のほか、各種コミュニティ活動に活用して地域の活性化に役立てたいと考えています。



坂町住宅自治会の太鼓など



塩野町区の太鼓など



早稲田区の化粧まわしなど

■コミュニティ助成事業とは・・・

（財）自治総合センターが、自治宝くじの広報事業費として受け入れている受託事業収入を財源に、コミュニティの健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報を行うことを目的として、さまざまなコミュニティ活動に助成を行うものです。

●問い合わせ 自治振興課自治振興室 ☎53-2111(内線331)または各支所地域振興課自治振興室



第14回かみはやし

とくさひ 穀菜マラソン開催

9月2日(日)、パルパーク神林を会場に第14回かみはやし穀菜マラソンが行われました。

当日は、9月に入ったにも関わらずまだまだ暑い中、市内外から参加した234人の選手は、実り豊かな神林地区の田園風景の中を疾走しました。

これまで市民と行政が協力しながら続けてきた本大会。常連の参加者も多く、今年の会場もアットホームな雰囲気にもなっていました。

●問い合わせ 神林教育事務所 ☎60-1500



第14回かみはやし穀菜マラソン入賞者の皆さん(敬称略) ※()内は学年

2km 小学生男子1～3年生			
順位	氏名	住所または学校	記録
1	大滝 快晴	胎内市	9分04秒
2	小田 有希	金屋小(3)	9分21秒
3	成田 凜空	村上小(3)	9分26秒
2km 小学生男子4～6年生			
1	小川 大智	西神納小(6)	7分21秒
2	陣谷 竜馬	岩船小(6)	7分48秒
3	中山 純静	塩野町小(4)	7分59秒
3km 中学生男子			
1	高橋 僚	村上東中(3)	10分00秒
2	高橋 壘	朝日中(3)	10分09秒
3	奈良橋 駿	荒川中(3)	10分29秒
5km 一般・高校生男子			
1	杉坂 芳樹	新発田市	16分36秒
2	長 俊広	関川村	18分34秒
3	土田 禎成	新潟市	19分18秒
10km 一般・高校生男子			
1	今井 幸司	村上市	36分26秒
2	佐藤 一貴	村上市	37分27秒
3	鈴木 純	村上市	38分02秒

2km 小学生女子1～3年生			
順位	氏名	住所または学校	記録
1	成田 葵	山辺里小(2)	9分27秒
2	磯部 まな	西神納小(3)	9分52秒
3	佐久間穂香	保内小(3)	9分56秒
2km 小学生女子4～6年生			
1	近 彩乃	神納小(6)	7分56秒
2	志村 桜姫	砂山小(6)	8分25秒
3	栗山ひなた	瀬波小(6)	8分39秒
3km 中学・高校・一般女子			
1	※参加人数が6人に満たなかったため、入賞者なし		
2			
3			
5km 一般・高校生女子			
1	鈴木 信子	村上市	24分20秒
2	中澤 陽子	村上市	24分47秒
3	高橋 路子	村上市	28分20秒
10km 一般・高校生女子			
1	佐藤 万里	村上市	43分02秒
2	東海林直美	村上市	47分34秒
3	加藤恵梨香	村上市	48分36秒



第58回 村上元旦マラソン大会参加者募集



と き 平成25年1月1日(祝)
 [選手受付] 午前8時10分～9時
 [開会式] 午前9時5分

集合場所 村上体育館 (村上市役所前)

参加資格 ・健康な人ならどなたでも参加できます(保険証を必ず持参してください。コピー可)
 ・ペアマラソンは、2人1組で参加してください(例：親子、夫婦、兄弟、友達など)

制限時間 10kmの部のみ、70分以内

参加費 小・中学生、高校生 1,000円、ペア(1組) 2,000円、一般 3,000円
 ※エントリー後の種目変更、参加費の返金はできません

申込期間 10月20日(土)～11月30日(金)
 [郵便局の払込取扱票で申し込む場合は、11月22日(木)まで]

申込方法 ①村上体育館および各地区総合体育館に参加費を添えて申し込む
 ②要項に添付してある「払込取扱票」を使用して郵便局で申し込む
 ③インターネットで申し込む(ランネット <http://runnet.jp/>)

種目	部門	スタート時間
1 km	1 ペアマラソン	10:00
	2 ペアマラソン	10:05
2 km	3 男子小学生低学年	10:30
	4 女子小学生低学年	
3 km	5 男子中学生	10:40
	6 女子中学生	
	7 女子高校生以上	
	8 男子30歳～49歳	10:45
	9 男子50歳以上	
	10 男子小学生高学年	
5 km	11 女子小学生高学年	10:55
	12 男子中学生	
	13 男子高校生～29歳	

種目	部門	スタート時間
5 km	14 男子30歳～39歳	10:55
	15 男子40歳～49歳	
	16 男子50歳～59歳	
	17 男子60歳以上	
	18 女子高校生～39歳	
10 km	19 女子40歳以上	11:00
	20 男子高校生～29歳	
	21 男子30歳～39歳	
	22 男子40歳～49歳	
	23 男子50歳～59歳	
	24 男子60歳以上	
	25 女子高校生～39歳	
	26 女子40歳以上	

★参加者全員に記念品(Tシャツ)を、完走した人には完走証を差し上げます。
 また、抽選(事前抽選)により、地元特産品が当たります。

●問い合わせ 村上元旦マラソン大会実行委員会(村上体育館内) ☎52-6311

むらかみの話題

このコーナーは、市内の協働の取り組みや話題・活動などを紹介します。

帰省した人を変え、伝統の「盆野球大会」を開催

8月15日(水) 荒川地区野球連盟



荒川地区野球連盟が主催し、今年で58回を迎えた伝統の大会。

帰省した人を変え、激戦を制して決勝まで駒を進めたのは、田島・羽ヶ榎と上・下鍛冶屋の2チームで、昨年と同じ顔合わせとなりました。

結果は田島・羽ヶ榎チームが7対2で勝利。2連覇を達成しました。おめでとございました。

夏の夜に つながる心 地域の和 ～猿沢地域盆おどり大会～

8月14日(火) 猿沢地域まちづくり協議会



猿沢地域内では、年々盆踊りを行う集落が減少する中、伝統行事の継承と、お盆の帰省した人も気軽に参加できる交流の場として、猿沢地域まちづくり協議会が主催して行いました。

地域全体としては初めての盆踊り大会。地域の皆さんや帰省した人など老若男女を問わず約400人が笑顔で、大きな踊りの輪を描いていました。

伝統芸能を受け継いで

8月14日(火) 府屋獅子舞保存会



市指定文化財の府屋獅子舞は大獅子舞、小獅子舞、豆さし舞の3部構成からなる珍しい獅子舞。この日、晴れの大獅子を舞ったのは富樫知之さん(29歳)。小学生のころから保存会に入り小獅子を舞い、昨年から大獅子を継承しました。

お盆を迎えたこの日、自主練習を積んできた富樫さんらの緊張の伝わる真剣な舞に、観客からたくさん拍手が送られていました。

白熱の一日！声援ひとときわ熱く！

8月19日(日) 青少年育成朝日地区市民会議



朝日地区の小中学校区単位の親子で構成したチームにより競う、第31回ジュニアスポーツ大会(ソフトボール)が行なわれました。チームに贈られ団体賞に加え、最優秀選手賞やホームラン賞、ハッスル賞などの個人賞も用意され、14チームによる熱戦が繰り上げられました。

《各ブロック優勝チーム》

- ・4年生の部 小川ルーキーズ
- ・5年生の部 猿小トリプルSⅡ
- ・6年生の部 グリーンサンライズ

青空の下、川遊びに大はしゃぎ！

9月1日(土) 金屋小学校



金屋小学校が「青空教室」を開催し、伝統の“川舟”に乗って、川下りやアユのつかみ取りなどを体験しました。

子どもたちは、地域の人々の指導のもと、川舟に乗って大はしゃぎ。途中でバランスを崩し、転覆しそうになっても何のその。たくましく川を下っていきました。

地域と学校が連携し開催されたこの取り組み。子どもたちにとっては、忘れられない夏の思い出となりました。



羽下ヶ淵区・大平区

桜と茶畑の似合う里づくりへ

羽下ヶ淵区・大平区では、このたび、今後の集落づくりの方向を「桜と茶畑の似合う里づくり計画」としてまとめました。この計画は、活気あふれる街瀬波まちづくり推進協議会の推進事業に認定され、桜並木の管理計画や「茶ムリ工講習会」(10月14日開催)などが盛り込まれています。同区では、これまでも「桜を大切に整備する」ことや「製茶業者の皆さんと連携した茶畑造成」などの事業に取り組んできました。

出格子を再現し、町屋散策で披露

8月15日(水) 塩谷活性化協議会



塩谷活性化協議会では、塩谷の町屋の出格子再現に取り組みんでいます。手作りで組み立てた出格子に、子どもたちも焦げ茶色のペンキを塗って、再現に役かっています。10月14日(日)に予定している塩谷町屋散策で、再現された出格子が訪れた人を出迎えます。

地域の「お宝」をスクールバスにペイント

8月26日(日) さんぼく体験交流企業組合



東京芸術大学OBの皆さんの指導のもと、子どもたちが普段乗車するスクールバスに「アート」を描くイベントが開催されました。今年には山北中学校3年生8人が参加し、笹川流れ、出羽街道の石畳などの「お宝」や観光キャラクター「ボシレンジャー」をペイント。さまざまな色や筆を使いながら真剣なまなざしで作業をする子どもたちの姿が印象的でした。

久しぶりの笑顔にふれあい！

9月2日(日) 牛屋集落



今年で7回目となる「牛屋ふれあい大会」。当日はとても暑く、会場の牛屋公民館では、参加した皆さんがタオル片手に、縄縫い競争をメインに6種目に挑戦していました。昨年は100人ほどの参加でしたが、今年は170人近くが集まり、笑顔が絶えない半日を過ごしました。

みごと準優勝

8月17日～19日 第22回あすなる杯(石川県輪島市)



岩船小学校ミニバスケットボール男子チームの「岩船ブラックタイガース」が、第22回あすなる杯ミニバスケットボール大会で初出場ながら準優勝という快挙を成し遂げました。決勝戦はわずか3点差で惜敗。メンバーの丸山洋太くん・陣谷竜馬くん(ともに6年)の2人はともに、「途中まで勝っていたので、本当に悔しかった。もっと練習して、今度対戦することがあったらその時は絶対に勝ちたい」と意気込んでいました。

貴重な生演奏に大感激

9月1日(土) 山北地区公民館・文化協会



山北地区公民館と山北文化協会の共催による「津軽三味線と民謡の夕べ」が行われ、200人を超える来場者からは演奏が終るごとに大きな拍手が送られていました。「とても気持ちよく演奏させていただきました」と演奏者の史佳Fumiyoshiさん。来場者からも「素晴らしい津軽三味線の生演奏が山北で聴けて幸せです」との声も。舞台と客席が一体となったひとときでした。

人が集える施設を目指して

8月31日(金) コミュニティデイホーム



市コミュニティデイホームの改修工事が完了し、お披露目会が行われました。

改修工事は、おらかみ町屋再生プロジェクトが監修し、アルミサッシを木戸にするなど町屋の姿に再生しました。今後は、地域の人や観光客が集い、交流を深めることができる施設を目指していきます。

今後の目標は「全国制覇」!

9月4日(火) 市役所



全国中学校体育大会で柔道男子個人50kg級に出場し、ベスト16という成績を収めた菅原大斗さん(山北中3年)が、市長のもとへ報告に訪れました。

最低でもベスト4を目指して臨んだ今大会。立派な成績にも関わらず納得がいかない様子でしたが、「高校に進学してからも柔道を続け、インターハイに出て、全国制覇を目指します」と力強く語ってくれました。

早期の事業化を願って

9月14日(金) 総合文化会館



国土交通省新潟国道事務所や新潟県などは、日本海沿岸東北道朝日まほろばIC(インターチェンジ)～あつみ温泉IC間の都市計画と環境影響評価に関する住民説明会を行いました。この日は、約150人の市民が参加。山北地区立島から参加した佐藤さんは、「早く完成して欲しい」と話してくれました。

この説明会は、教育情報センター、北中生活改善センター、ゆり花会館でも開催されました。

スポーツで元気なまち村上

第7回

● 問い合わせ

生涯学習課

スポーツ推進室

☎ 72-6886

「村上市スポーツ施設整備計画」の策定

今月号では、スポーツ施設の整備・充実についてお知らせします。スポーツを習慣化し、スポーツをする人を増やすには、気軽にスポーツを楽しむことができる場所の確保が欠かせません。

現在、市教育委員会では、スポーツ施設の弾力的な運営とサービスの向上を図るため、指定管理者制度により施設の管理・運営を民間へ移行しています。また、市内には、屋内外合わせて52ヶ所のスポーツ施設がありますが、ほとんどの施設では老朽化が進んでいることから、市教育委員会では今年度、「村上市スポーツ施設整備計画策定会議」を設置し、長期的な整備計画を策定しています。

その取り組みの一部を紹介します。

スポーツ施設への指定管理者制度の導入

市教育委員会では、多様化する住民のニーズに効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間のノウハウを活用し、住民サービスの向上などを図ることを目的に「指定管理者制度」

を導入しています。

現在のところ、村上地区の12施設を「ウエルネスむらかみ」に、神林地区の9施設を「希楽々」へと、2つの総合型地域スポーツクラブに施設の管理・運営を移行しています。

指定管理者制度により管理・運営を行っている2つの総合型地域スポーツクラブでは、運営ノウハウや有資格者の指導者を活用し、これまで以上に市民が親しめる環境を整備することも、利用者アンケートを行うなど、利用者の立場に立った安全かつ快適で使いやすいスポーツ施設を目指しています。



トレーニング室
(神林総合体育館)

「村上市スポーツ振興基本計画」の基本理念に示した「スポーツで元気なまち村上」の実現に向け、「良好なスポーツ環境の整備・充実」を図るため、本年度、村上市スポーツ施設整備計画を策定するための村上市スポーツ施設整備計画策定会議を設置しました。

会議の委員は、各種スポーツ団体の代表者、施設管理者、施設利用者などから選出された10人。会議では、施設を視察して現状把握を行うほか、市民アンケート（実施予定）や利用者アンケートを行うなどして計画の策定を行っています。

7月に行われた1回目の会議では、委員から「地域住民のためにも破損している箇所などについては積極的に修繕し、利用したいと思われる施設運営を目指すべき」といった提案もあり、施設の廃止も含めて、リニューアルや多目的化など効果的に施設が利用できるよう計画の策定を進めています。

スポーツ施設における課題解決と場所の確保

先にも述べたとおり、スポーツ人口を増やすには、スポーツをする場所を確保しなければなりません。それは大規模な施設でなければならぬわけではありません。

市内のスポーツ施設は、確かに「気軽に体力づくりができるトレーニング室が完備されていない」「大規模な大会を誘致できる環境ではない」などの多くの課題はありますが、これらの課題をどう解決していくかを検討していくとともに学校体育施設を有効に利用できる環境の整備、公園や廃校となった学校の利活用など、さまざまな角度から場所の確保に努め、1人でも多くの市民がスポーツを楽しむことができる環境を整えていきます。



屋内体育施設のランニングコース
(神林総合体育館)

来月号は、「スポーツ組織の整備・充実」の実施状況についてお伝えします。

けんこう通信

～健康むらかみ21計画だより～

●問い合わせ

保健医療課健康支援室 ☎53-2111 (内線261～266)



お酒は適正な量を飲んでいますか



適正な量とは――

お酒は楽しく飲みたいものですが、適正なお酒の量とは、どれくらいなのでしょう。

個人差はありますが、目安として、1日あたり、日本酒なら1合、ビールなら500ml程度で、週2日の休肝日を設けるのが適正とされています。

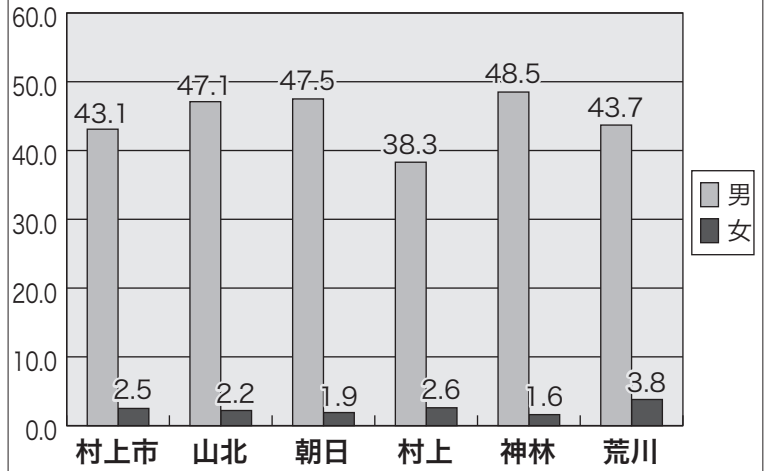
市内の飲酒状況

市の特定健診受診者約6千人のうち、毎日1合以上を飲む「飲酒習慣のある人」は、男性が43・1%・女性が2・5%です。地区別で割合をみると、男性は①神林②朝日③山北の順に、女性では①荒川②村上③山北の順に高いということがわかります。(グラフ1参照)

また、肝機能が異常で受診が必要と判定された割合では、男性は①神林②朝日③山北と地区別の割合と同じ順に高く、女性は①村上②荒川③山北という順に高くなっています。(グラフ2参照)

※平成22年度市特定健診結果より

グラフ1 毎日飲酒習慣がある人の割合

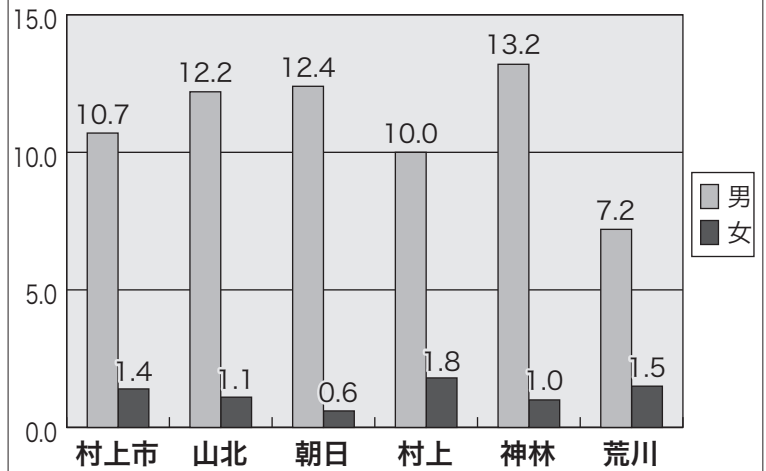


飲酒量が増えると精神面にも影響が

アルコールには耐性があることから、知らず知らずに飲めるようになってしまうと飲酒量が増えてしまいます。飲酒量が増えること次のような精神面の健康に関わる問題を引き起こす可能性があります。

○不眠症を悪化させる
しっかりと睡眠がとれなくなり、利尿作用が働いて夜中に目

グラフ2 肝機能異常で要受診となった人の割合



自分とお酒の関係を見直す

お酒は、飲みすぎると体に毒ですが、適正な量(上記参照)であれば健康に良いと言われていいます。大切なことは、自分の身体と向きあい、相談しながらお酒と付き合っていくことです。今一度、自分とお酒の関係を見直してみませんか。

○不眠症を悪化させる
このようなことから、特に習慣的に飲酒する人は、量が増えないよう、定期的に休肝日を設けるなど注意が必要です。

覚める原因になります。

○うつ病を悪化させる
酔いから覚めたとき、以前よりさらに気分が落ち込むようになります。

○自殺のリスクを高める

1日2合半以上(日本酒換算)の飲酒は自殺のリスクを高めます。

包括支援センターだより

認知症の人を地域で支えるために⑤ 介護施設で介護している人からのアドバイス



認知症の人の介護は、分かっているにもかかわらず思うようにいかないと介護者の人からよく聞きます。そこで今回は、「認知症高齢者グループホームたかつぼ」の管理者である平山美保子さんに、介護する上で大切にしていることをお聞きしました。

3つのポイント

思いを否定せずに聞く

それぞれにその人の過去や現在の思いがあります。まずはその思いを否定せずに話を聞くようにしています。最初から否定してしまうと、本人が興奮したり、怒ってしまったりすることがあり、よい関係が築けなくなります。

笑顔で本人に接し、安心感を

認知症の人は、相手の表情にとっても敏感です。介護者の笑顔が本人の落ち着いた生活につながります。

できることをしてもらい、自信を持ってもらう

グループホームでは、食事の支度の手伝いや洗濯物をたたむなど本人ができることはなるべくしてもらっています。家庭でも「何もしないで」と言わず、できることをしてもらい、自分は役に立っているという自信を持ってもらうようにしましょう。



これらのことはどれも、介護者の気持ちに余裕がないとできないことです。介護者にとっては、介護の様子などを聞いてもらえるだけで気が楽になり、心に余裕が出てきます。このような周囲の人のやさしさが、介護者にとっては大きな手助けとなります。

●問い合わせ 介護高齢課地域包括支援センター ☎53-2111 (内線365)
または各支所地域福祉課福祉室

ドクターヘリ

ドクターヘリの運航が始まります

火災でなくとも消防車両がサイレンを

鳴らして出動することがあります

新潟県では、10月30日からドクターヘリの運航を開始します。

ドクターヘリとは、傷病者の搬送というより、救急現場での迅速な医療処置を開始することを目的に医師と看護師が乗って現場へ向かうヘリコプターのことです。

ドクターヘリの要請は、119番通報受信時または救急隊が傷病者を観察し、その結果をドクターヘリ要請基準に基づいて要請しますので、個人で要請することはできません。

搬送料金は無料ですが、医師の往診料と治療費が通常の医療機関と同様に掛かります。

運航開始に伴い、あらかじめ設定した離着陸場（市内小・中・高等学校グラウンドなど50箇所）に予告なくヘリコプターが飛来することがあります。その際は、離着陸場の安全管理や砂埃の飛散防止の散水のため消防車両がサイレンを鳴らして出動します。場合によっては離着陸時に近くの道路が通行止めになることがあります。

また、離着陸場がない場所では、空き地などにも着陸することもありますのでご注意ください。



平成24年災害件数(毎月更新)

災害種別	8月	8月末までの累計	
		本年	昨年
火災	3件	20件	15件
救急	222件	1,621件	1,756件
救助	8件	37件	39件
その他の災害	16件	140件	179件

※その他の災害は「警戒」「調査」「水防」「その他(土砂災害・漏油事故)」「ポンプ車の救急出動」など

●問い合わせ 消防本部 ☎53・0119



わが家の



今回は、
村上地区です

このコーナーでは、村上の未来を担う子どもたち、「わが家の宝」を紹介します。

夢依が生まれて早1年。
最近では、1人で歩けるよ
うになり、行動範囲が広が
りました。

怒られることもありますが、
これからの成長がとても
楽しみです。

いっぱい食べて、いっば
い笑って、大きく育ててく
ださいね。



浅田 智恵さん〔松原町2丁目〕
夢依くん(1歳)

図書館ひろば

村上市立中央図書館 ☎53-7511

【中央図書館新着図書】

- ◆ 鳴いて血を吐く(遠田潤子)
- ◆ ナモナキラクエン(小路幸也)
- ◆ 光降る丘(熊谷達也)
- ◆ 光圈伝(沖方丁)
- ◆ 赤猫異聞(浅田次郎)
- ◆ 奇貨(松浦理英子)
- ◆ 夜明け遠き街よ(高城高)
- ◆ 四重奏(カルテット)(小林信彦)
- ◆ 竹に紅虎(下川博)
- ◆ 神様のカルテ3(夏川草介)
- ◆ ピーライフ! -白亜館物語- (濱野成秋)
- ◆ うたう百物語(佐藤与生)
- ◆ 幸せの条件(菅田哲也)
- ◆ 人生が用意するもの(川上未映子)

◆…一般書 ○…児童書

図書館職員のおすすめ本 『すべては今日から』

児玉 清 著

10月27日から11月9日は読書週間。

昨年5月に逝去された児玉清さんは、無類の読書家で、蔵書数は2万冊とも言われています。そんな児玉さんが読んだ本の数々を、あらすじとともに自身の本とのエピソードを綴った一冊です。児玉さんの知識の深さに脱帽します。

- ◆ ガイドブックにぜったい載らない海外バック旅行の選び方・歩き方(佐藤治彦)
- ◆ 中高生のためのメンタル系サバイバルガイド(松本俊彦)
- ◆ ビジネス礼状の書き方
-30万通以上書いた手紙のプロが教える最強の営業ツール! - (亀井ゆかり)
- 暗闇城の黄金(少年冒険家トム2)(イアン・ベック)
- 13歳からの論理的な話し方のトレーニング-「理屈をしっかりと述べる力」が身につく50問-(小野田博一)
- 清水義範のイッキによめる! 日本史人物伝 古代編(清水義範)
- ひまわりのおか(松成真理子)

《古雑誌リサイクル市in朝日》のお知らせ

古雑誌のリサイクル市を次のとおり行います。販売する古雑誌は、保存期間を過ぎたものです。本を入れる袋を持参のうえ、ご来場ください。

と き 10月13日(土) 午前10時30分~午後3時

ところ 総合文化会館 小ホール

その他 古雑誌は、どれも1冊10円です。販売する雑誌のリストは、各図書館(室)にあります。購入にあたってのご予約はできません。中央図書館での《古雑誌リサイクル市》は、今年度は行いません。

○おたんじょう

氏名(ふりがな)	届出人	町内会名または住所	氏名(ふりがな)	届出人	町内会名または住所
村上地区			神林地区		
俊平(しゅんぺい)	板垣俊行	杉原	りん	小野政彦	南田中
葵央来(きおら)	太田正康	田端町	蒼乃(あおの)	野澤和哉	塩谷
蒼愛(そあ)	松田昌幸	羽黒町	悠葵(はるぎ)	小池俊輔	塩谷
詩穂(しおん)	長正人	大月	朝日地区		
日菜(ひな)	渡邊嘉久	飯野三丁目	葉月(はづき)	板垣剛	寺尾
朋佳(ともか)	山本洋	田端町	心愛(のあ)	松田康貴	鵜渡路
栞太(かんだ)	高橋潔幸	緑町一丁目	智哉(ともや)	志田俊輔	鵜渡路
妃香(ひよか)	本間政史	南町二丁目			
獅音(らいお)	須貝崇之	八日市			
愛莉(あいり)	伊藤博之	松原町四丁目			
莉子(りこ)	園部利栄	二之町			
大輝(だいき)	坂田和也	松原町四丁目			
咲乃(さくの)	三浦弘昭	大欠			
瑠音(るね)	加治喜晃	八日市			
荒川地区					
はづき	伊東健太	羽ヶ榎			
未夢(みゆ)	松本忠	堤下団地			
聡希(さとき)	木村隆幸	下鍛冶屋			

●おくやみ

氏名	年齢	町内会名または住所	氏名	年齢	町内会名または住所	氏名	年齢	町内会名または住所
村上地区			荒川地区			朝日地区		
水谷芳男	78	堀片	露木謙次	75	坂町住宅	板垣サワ	88	高根
佐藤久松	97	柏尾	奥山勤	72	藤沢	秋山ソシ	96	原小須戸
小池利三郎	86	庄内町	佐藤サク	89	川部	遠山安一	53	高根
河内トキ	95	庄内町	羽田周	97	金屋	大滝岩夫	85	宮ノ下
齋藤清一郎	92	岩船新田町	山田美吉	66	坂町	玉木安則	55	宮ノ下
佐藤テル	104	加賀町	渡邊賢一	56	佐々木	齋藤アサイ	96	本小須戸
中山正夫	71	若葉町	富樫留次郎	94	切田	齋藤源吾	90	本小須戸
高橋サダ子	86	大欠	鈴木ステ	99	山口	山賀誠	89	本小須戸
滝波正喜	65	塩町	鈴木英夫	76	坂町	太田静江	89	檜原
永田ハル	92	天神岡				須貝勉	84	小揚
渡邊貞	74	瀬波浜町				栗田イツ	88	岩崩
長榮一郎	87	大月	神林地区			山北地区		
長トシ子	84	大月	石田ウシイ	87	牛屋	大滝典吉	83	北中
富樫政三	78	泉町	長柄直三	73	新飯田	大滝末松	90	勝木
香取信三	76	岩船上浜町	中村松義	48	上助渕	板垣友作	93	北赤谷
鈴木廣	85	山辺里	佐藤勝康	87	指合	五十嵐オバヨ	95	大谷沢
田中イツ	87	塩町	齋藤ケン	98	葛籠山	富樫トメコ	84	府屋学校町
小田清一郎	76	南町二丁目				富樫六一	71	府屋本町
近藤重雄	78	四日市				板垣喜助	78	朴平
中村昭造	64	三之町				齋藤トシ	87	越沢
						加藤ハナ	94	大毎

※ 8月11日から9月10日までの届け出です(敬称略) ※保護者やご遺族などの了解を得て掲載しています

人口と世帯数(9月1日現在) ()内は前月比
 人口  31,841人(△45)  34,720人(△25) 計66,561人(△70)  22,955世帯(+1)

村上の ふるさと景観スポット ⑦

これまで、市景観計画の要素として取り上げられている景観を紹介してきました。今月号からは、計画の中で重点的に景観形成に取り組んでいきたいと考えている重点地区候補の景観を紹介していきます。

■岩船地区(重点地区候補地・村上)



石川の河口に位置する港町であり、趣のある路地・小路を残す漁師町の雰囲気とともに、北前船の寄港地として栄えたかつての面影が感じられます。

村上の三大祭りの一つである岩船祭は10月18・19日に行われ、風情ある町並みが勇壮な祭りを演出しています。

■小俣地区(重点地区候補地・山北)



出羽三山詣で賑わった宿場町であり、「日本国」の麓ふもとに位置する登山口として、毎年5月5日には山開きイベントを開催しています。

戊辰の役で全焼した町並みは、明治初期に復興され、庄屋・旅籠屋はたごなどの当時の面影が今も残っています。

●問い合わせ

都市整備課計画室 ☎53-2111 (内線512・513)

※景観計画は、村上らしい魅力的な景観形成の目標、方針などに関する事項を定めるもので、現在策定中です

編集後記

▶9月1日、村上・岩船地域の医療を考えるフォーラムに行ってきました。今年は「脳卒中」というテーマで、講演と寸劇が行われました。▶講演では、脳卒中は予防が一番とのことなので、それには生活習慣を見直すことが大切だと講師が話していました。そこで自分自身の生活を思い出してみましたが、考えれば考えるほど直すべきところがたくさん出てきました。これではいけないなと痛感し、少しずつですが生活習慣の改善を図っているところです。⑩

今月の表紙

むらかみ夏の音楽祭で公演された「安寿と厨子王」第2幕のクライマックス、国守となった厨子王が生き別れになっていた母親と再会した場面です。再会を果たし、喜びのあまり泣き崩れる母親に、厨子王がやさしく言葉を語りかけるこのシーンは、大勢の観客に感動を与えました。

市の木・花・鳥(平成23年1月20日制定)



むらかみ防災・防犯情報ねっと

メールでいつでもどこでも緊急情報をキャッチ!
<http://www.city.murakami.niigata.jp/i/ml/>
 右のQRコードで読み取るだけで簡単アクセス



編集・発行 村上市政策推進課
 〒958-8501 新潟県村上三之町1番1号
 ☎0254(53)2111内線531 FAX 0254(53)3840



市報むらかみは、資源保護のため再生紙と環境にやさしい大豆インクを使用しています。

印刷 村上印刷株式会社